



ヒューマトロープ®注射用 6mg
ヒューマトロープ®注射用 12mg をご使用される方へ

ヒューマトローペン® 6mg ヒューマトローペン® 12mg 使い方のポイント

目次

注射の流れ	3
成長ホルモンの注射について	4
各部の名称・しくみ	5

お薬の準備

1 お薬の溶解	6
2 カートリッジの取付け	8

お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

1 針の取付け	9
2 空気抜き	10
3 投与量の設定	11
4 注射	12
5 (オプション) 針隠しカバーの使い方	13
6 後片付けと保管	15

カートリッジの交換

日常の使用：カートリッジがセットされているとき

こんなときは：よくある質問	19
保管・お手入れ・重要なお知らせ	25

お薬の準備(p.6～)

用意するもの：



アルコール綿



ヒューマトローブ
注射用 6mg



ヒューマトローブ
注射用 12mg

お薬の注射(p.9～)

用意するもの：



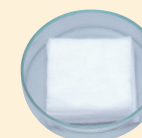
ヒューマトローベン 6mg
または



ヒューマトローベン 12mg



注射針



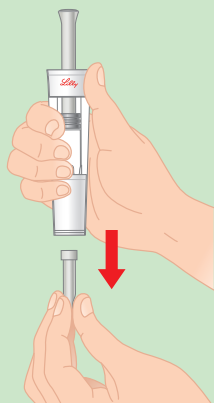
アルコール綿

※使い終わった注射針等を捨てる専用の容器も用意しましょう。

注射の流れ

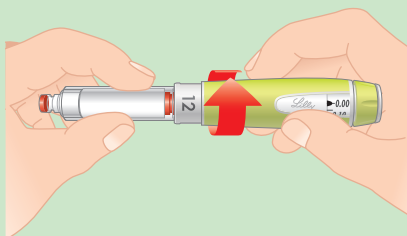
新しいカートリッジのときは

1



お薬を溶解し (p.6~7)

2

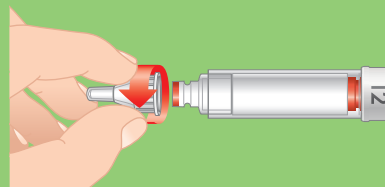


カートリッジをペンに取り付けます (p.8)。

※針を取り付けた後は、空気抜きを行ってください。

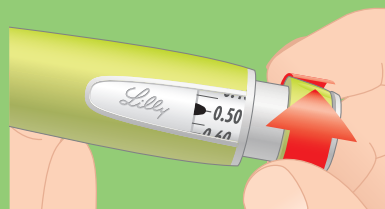
カートリッジがペンにセットされている場合は

1



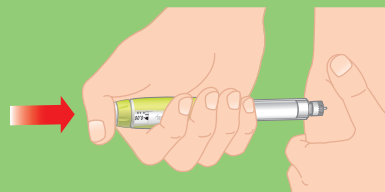
ペンに新しい注射針を取り付け (p.9)

2



投与量を設定し (p.11)

3



注射します (p.12)。

注射が終わったら

1

針を外し

2

キャップをして
ケースに入れ

3

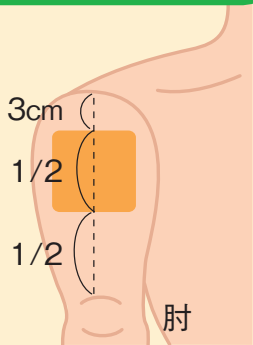
冷蔵庫で
保管します
(p.15)。

成長ホルモンの注射について

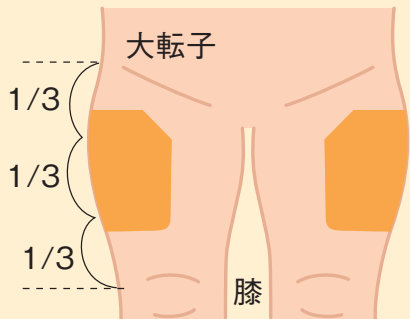
- 成長ホルモンの注射は、自宅で行います（在宅自己注射といいます）。
- 注射できる部位は、^{じょうわん ぶ}上腕部、^{だいたい ぶ}大腿部、^{ふく ぶ}腹部、^{でん ぶ}臀部等です（注射部位と注射のスケジュールは、主治医の指示に従ってください）。
- 注射する時間は、入浴後、夜寝る前がよいでしょう。

注 射 で き る 部 位

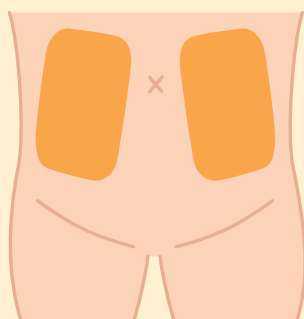
上腕部（上腕）



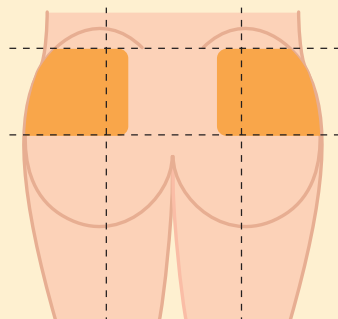
大腿部（太もも）



腹部（お腹）



臀部（おしり）

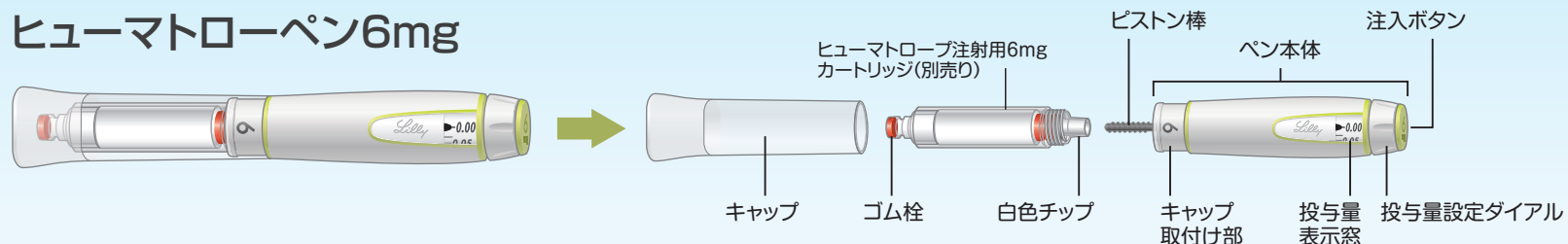


※ 同じところに続けて注射すると皮膚がかたくなることがありますので、注射する場所は毎回変えるようにしてください。

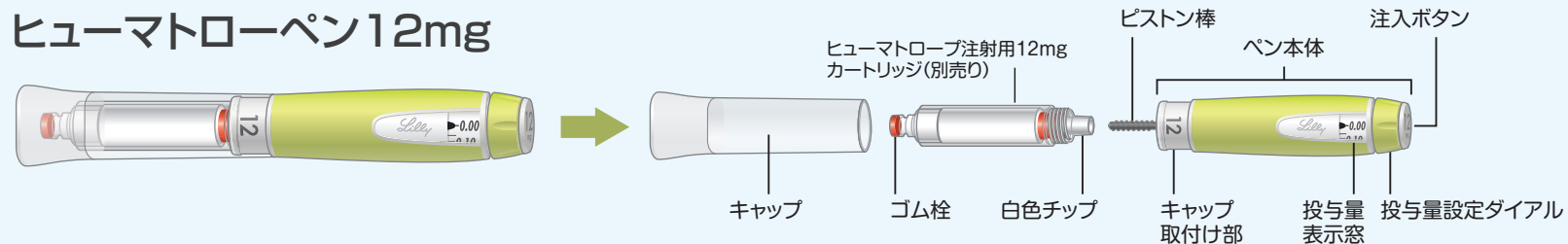
各部の名称・しくみ

- ヒューマトローペン6mgおよび12mgに、お薬の入った専用のカートリッジと注射針を取り付けて使います。
- 針隠しカバー(オプション)を取り付けて注射することもできます。

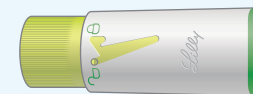
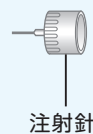
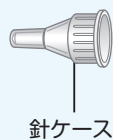
ヒューマトローペン6mg



ヒューマトローペン12mg



注射針(別売り)



針隠しカバー(オプション)

※ヒューマトローペン6mgおよび12mgは、日本イーライリリー株式会社のヒト成長ホルモン製剤カートリッジ専用の医薬品ペン型注入器です。

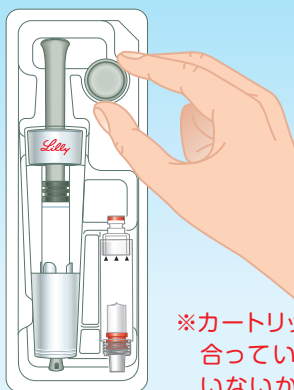
お薬の準備

すでにカートリッジがセットされている場合は、
p.17から始めてください

1 お薬の溶解

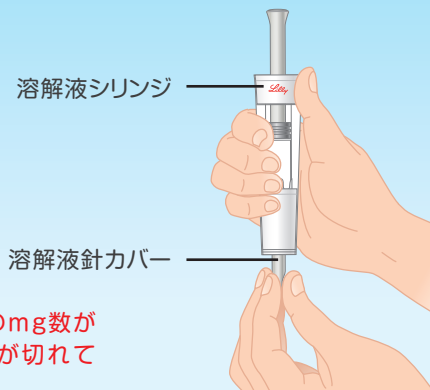
2 カートリッジの取付け

- 1** 手を洗ってから、トレイに入っているすべてのものを取り出してください。

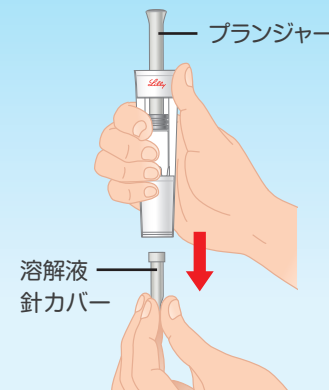


※カートリッジのラベルとペンのmg数が合っているか、また使用期限が切れていないか確認しましょう。

- 2** 溶解液シリンジの下部にある溶解液針カバーを指でつまんでください。



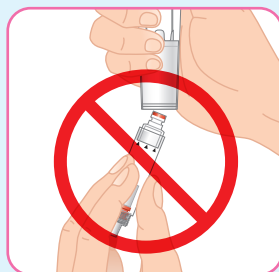
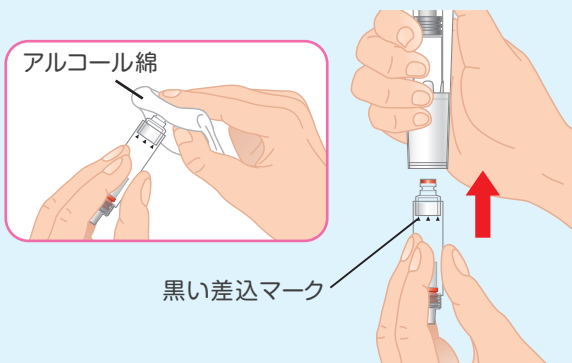
- 3** 溶解液針カバーを注意して外します。



プランジャーはまだ押さないでください。

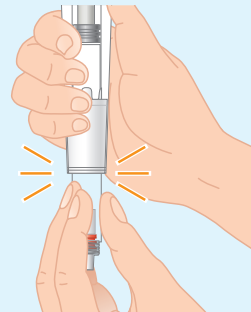
※溶解液のしずくがたれることがあります、問題ありません。

- 4** お薬の入ったカートリッジ先端のゴム栓を消毒します。
黒い差込マークを上にしてカートリッジを溶解液シリンジと一直線になるように持ってください。



※カートリッジを斜めにしないでください。

- 5** お薬の入ったカートリッジを、黒い差込マークが見えなくなって止まるまでまっすぐに差し込んでください。



このとき、「カチッ」という音が聞こえたり感じたりしますが、
固定されていませんので
手は離さないでください。

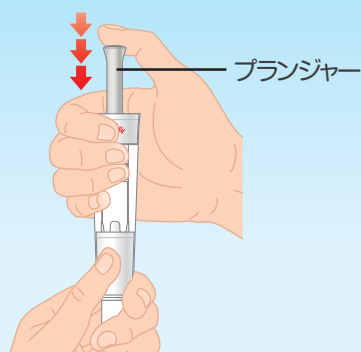
※差し込むとき、カートリッジはねじらないでください。

お薬の準備

すでにカートリッジがセットされている場合は、
p.17から始めてください

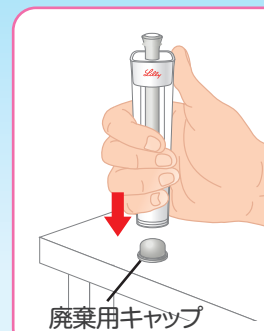
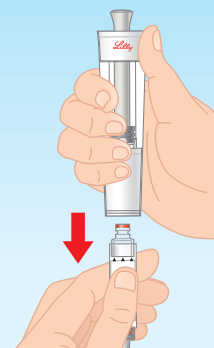
1 お薬の溶解 → 2 カートリッジの取付け

- 6** 両手で溶解液シリンジとカートリッジを一緒に持ち、プランジャーを2～3回に分けて少しずつゆっくりと押しながら、溶解液を注入します。速く注入すると注射液が泡立つので、ゆっくりと注入してください。



※抵抗を感じたら一度指を離して、再び押ししてください。

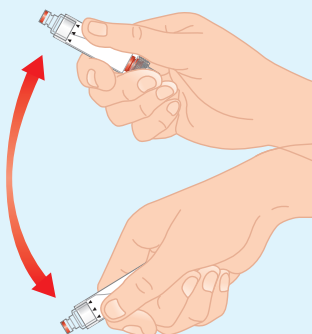
- 7** 親指をプランジャーから離し、溶解液シリンジが空になったことを確認してから、カートリッジを外します。



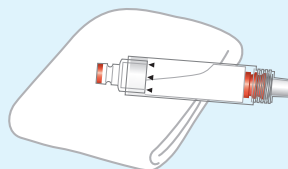
※硬くて平らなところに、廃棄用キャップを図のように置いて、溶解液シリンジを廃棄用キャップに差し込みます。

※溶解液シリンジは、主治医の指示に従って安全に廃棄してください。

- 8** カートリッジを上下にゆっくりと10回程度振ってください。激しく振ると注射液が泡立つので、ゆっくり振ってください。

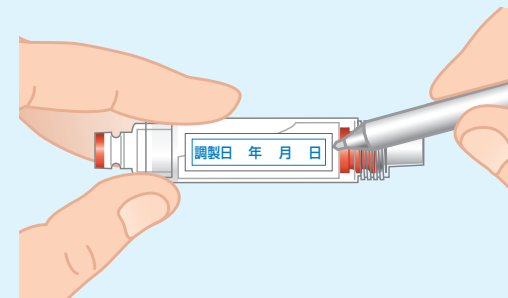


- 9** 清潔なところに3分間静置してください。注射液が無色透明になったら、ペンへ取り付けるための準備は完了です。



※もし注射液が無色透明でなかったり、固形物がみられる場合は、再度カートリッジを上下にゆっくりと10回程度振ってください。その後再度5分間静置してください。それでも注射液が無色透明でなかったり、固形物がみられる場合は、そのカートリッジは使用しないでください。

- 10** 「薬剤調製日 記入シール」にお薬を溶かした日付を記入し、カートリッジに貼っておきます。



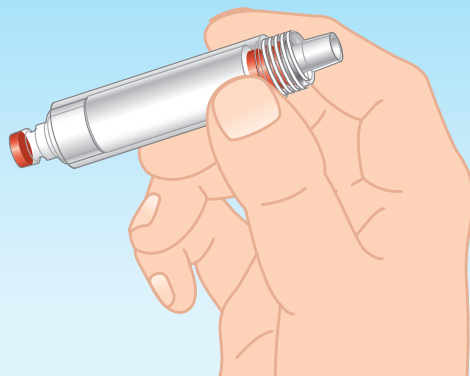
お薬の準備

すでにカートリッジがセットされている場合は、p.17から始めてください
※ここでは、ペンの操作をヒューマトローペン12mgで例示しています。

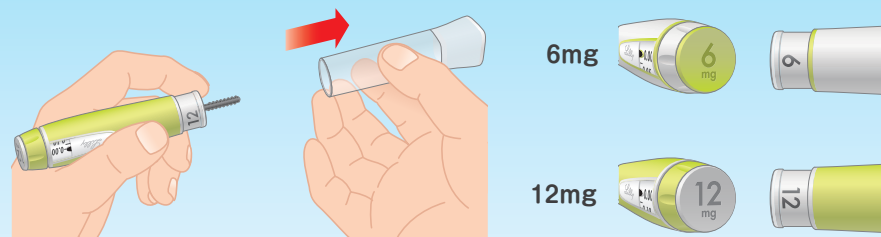
1 お薬の溶解 → 2 カートリッジの取付け

1 必ず、以下について確認をしてください。

✓ カートリッジのラベルとペンのmg数が合っているか

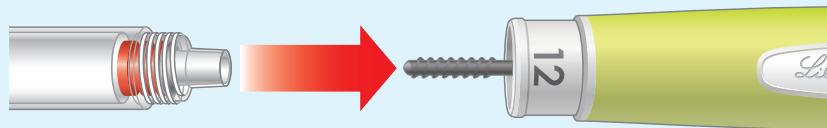


2 キャップを引っ張って外し、注入ボタンとキャップ取付け部の数字とカートリッジのmg (6mgまたは12mg) が合っていることを確認してください。



キャップ取付け部の数字とカートリッジの数字が合っていない場合は、主治医にご連絡ください。

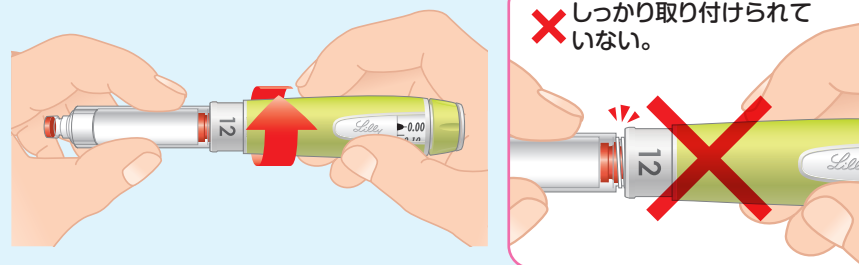
3 ペンを水平に持ち、カートリッジの白色チップを、ピストン棒に押し当ててピストン棒を押し戻します。



※ピストン棒は手で押し込まないでください。

初回使用時はピストン棒が図のように出ていないことがありますが、異常ではありません。そのままカートリッジをペン本体に取り付けてください。

4 カートリッジの白色チップをペン本体に押し込みます。確実に止まるまでペン本体をカートリッジにねじ込んでしっかり取り付けます。

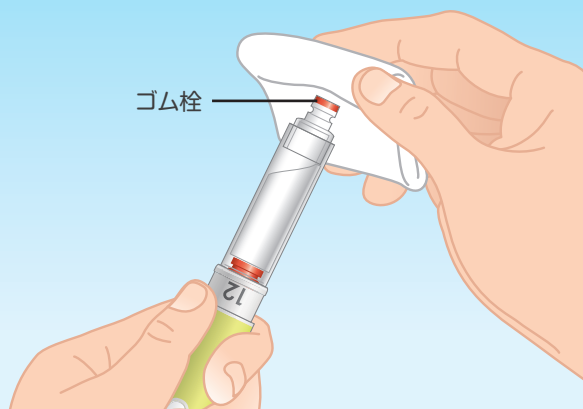


※カートリッジの取付けが不完全な場合、ピストン棒が動かず、設定量が投与できないことがあります。

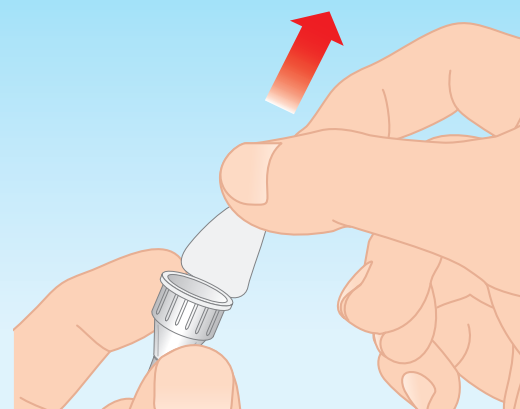
お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

1 アルコール綿でカートリッジ先端のゴム栓を消毒します。

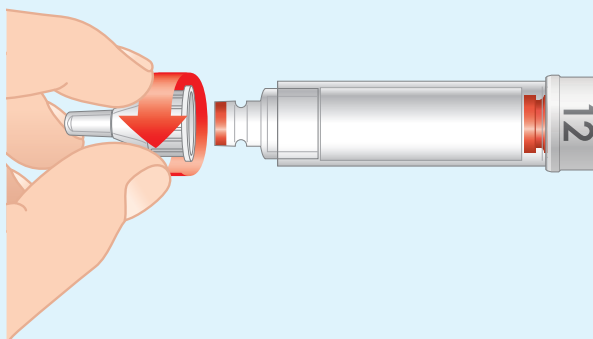


2 注射針の保護シールをはがします。

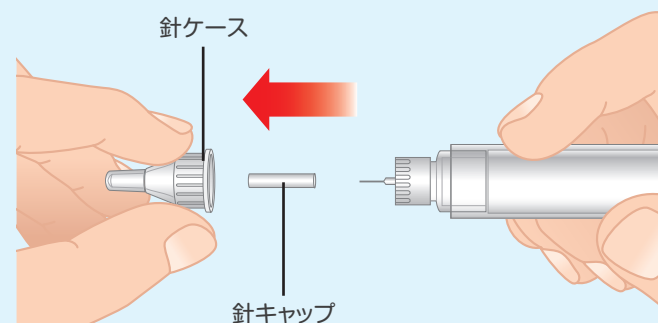


※注射のたびに新しい注射針をご使用ください。

3 注射針をヒューマトロップ注射用のカートリッジにまっすぐ押し付けたまま、時計回りに回してしっかりと取り付けます。



4 針ケースと針キャップをまっすぐに引っ張って外します。

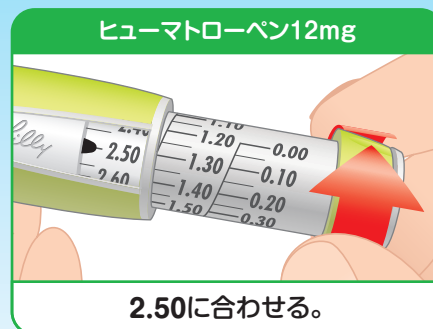
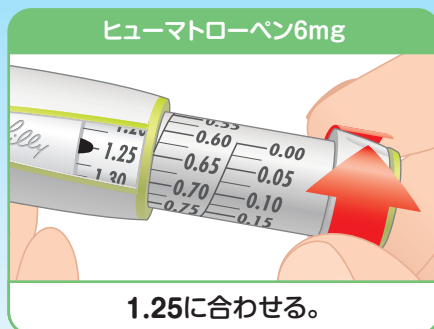


※針ケースは、注射後に注射針を取り外すときに使用しますので、捨てないでください(針キャップは捨てていただいて結構です)。

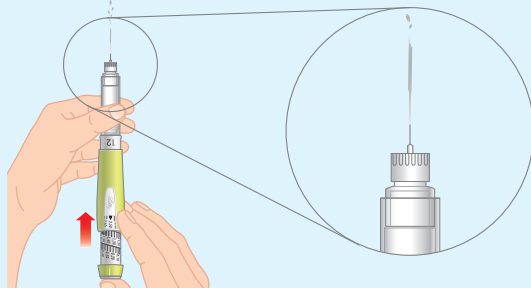
お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

1 投与量設定ダイヤルを回して空気抜き用の数字に合わせます。



3 注射針をまっすぐ上に向けます。注入ボタンを押して注射液が出ていることを確認してください。



注射液が出ないときは？

ヒューマトローペン6mg

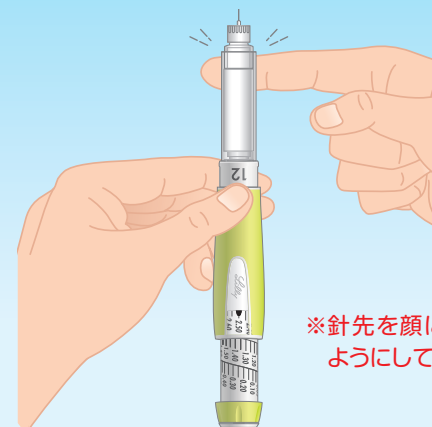
0.05

ヒューマトローペン12mg

0.10

投与量設定ダイヤルを上数字に合わせて②と③を繰り返し、針先から注射液が出るまで空気抜きの操作を繰り返してください。

2 針先が上になるようにペン本体を持ち、カートリッジを指先でたいて気泡を上を集めます。



※針先を顔に近づけないようにしてください。

！ 注意！

新しいカートリッジで初めて注射する前には、必ず空気抜きを行う必要があります。

これは溶解操作後にみられる大きな気泡を取り除くための重要な操作です。

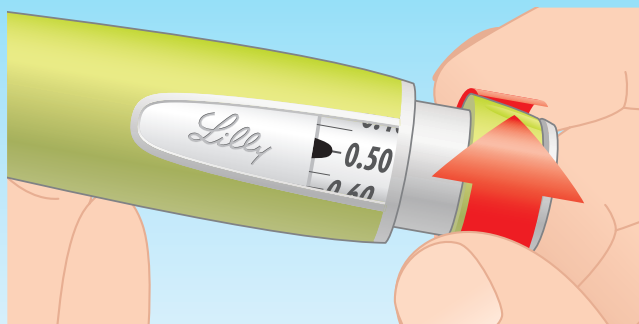
ピストン棒が奥まで入っていると注射液がなかなか出てこないことがあります。

数回空気抜きの操作を繰り返しても、注射液が出ない場合は、主治医にご相談ください。

お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

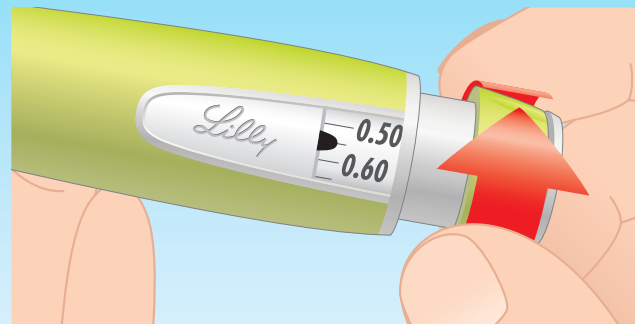
1 針の取付け → 2 空気抜き → **3 投与量の設定** → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

投与量設定ダイヤルを回し、投与量を設定します。



間違えて多く設定してしまった場合は、投与量設定ダイヤルを逆方向に回すと投与量を修正できます。

※ 図はヒューマトローペン12mgで0.50に設定したところです。



すべての数字が表示されているわけではありませんので、投与量を設定する際には十分ご注意ください（線は上と下の数字の間の量になります）。

※ 図はヒューマトローペン12mgで0.55に設定したところです。

注射後の投与量表示窓に「0.00」以外の数字が出たときは、カートリッジの残量が設定量より少なかったことを示しています。投与量表示窓の数字は注射されなかったお薬の量です。

ペン型注入器の種類	専用のカートリッジ	1回に設定可能な投与量 (mg)	投与量設定刻み (mg)
ヒューマトローペン6mg	ヒューマトローブ注射用6mg	0.025～1.500	0.025
ヒューマトローペン12mg	ヒューマトローブ注射用12mg	0.05～3.00	0.05

投与量は、患者さんの体重をもとに主治医が決めたものなので、決められた投与量(スケジュール)に従って、注射を続けてください。

クリック数一覧表

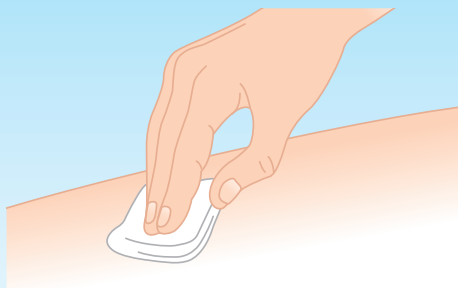
クリック数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	60
ヒューマトローペン6mg	0.025	0.050	0.075	0.100	0.125	0.150	0.175	0.200	0.225	0.250	～	1.500
ヒューマトローペン12mg	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	～	3.00

お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → **4 注射** → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

1

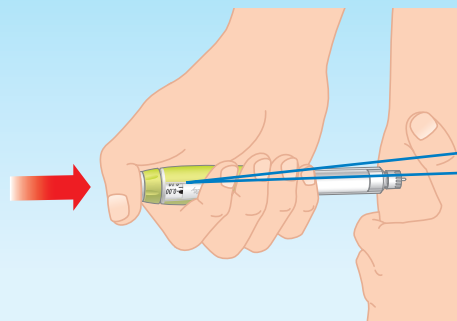
注射する部位を消毒し、主治医に指示された方法で注射針を皮膚にさします。



※同じところに続けて注射しないように、注射する場所は毎回変えてください。

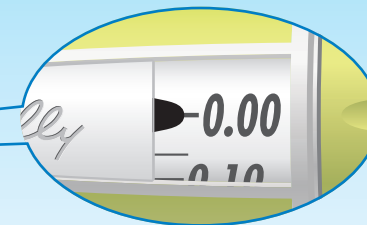
2

親指を注入ボタンにまっすぐに置き、そして注入ボタンが止まるまでゆっくりとまっすぐに押します。



3

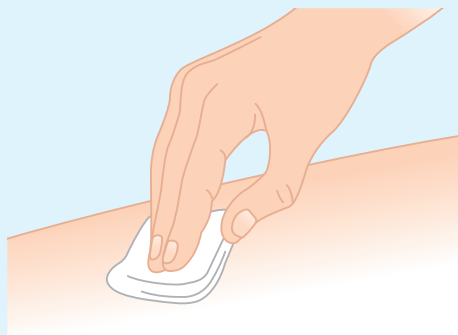
注入ボタンを押したまま5秒以上待ち、そのあと注入ボタンを押したまま注射針を皮膚から抜いてください。



※投与量表示窓に「0.00」と表示されていることを確認してください。これは、設定量すべてが注射されていることを示しています。

4

注射したところを、アルコール綿でしばらく押さえます。



注意！

※注射が終了すると、投与量表示窓は「0.00」と表示されています。「0.00」でない場合、その数字は注射されなかったお薬の量を示しています。その際は無理に注入ボタンを押し込まないでください。

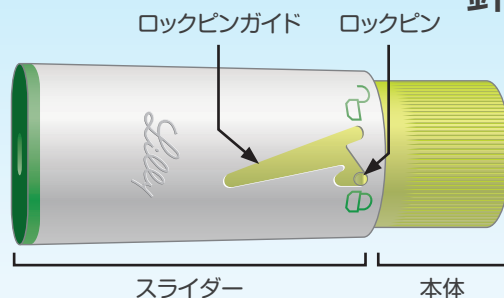
※注射されなかったお薬の量の扱いについては、処方の際に主治医から指示された方法に従ってください。注射針と空になったカートリッジは取り外してください。
新しいカートリッジを取り付けたときは、p.10に従って空気抜きを行ってからご使用ください。

お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

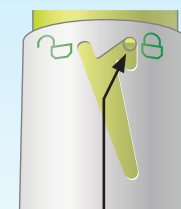
1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

- 針隠しカバーを使用することで、注射針を見えないようにして注射することができます。

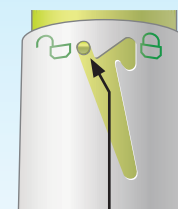
針隠しカバー(オプション)



スライダーを回してロック/ロック解除

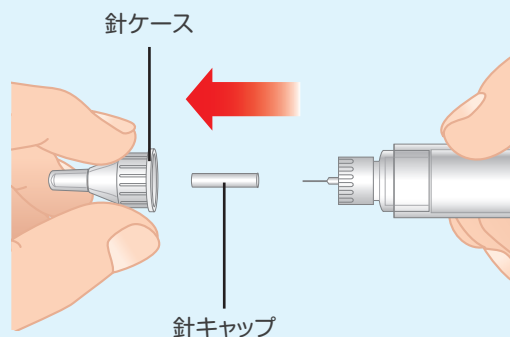


ロック状態



ロック解除状態

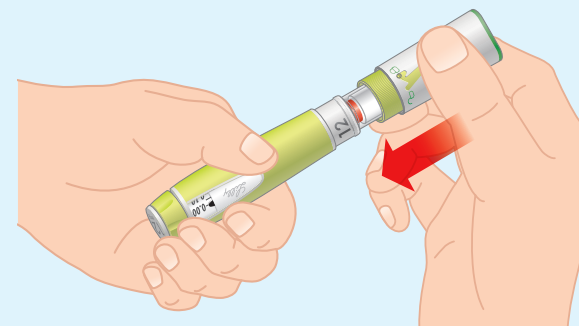
- 1** ペンのキャップを取り外してから、新しい針を取り付け、針ケースと針キャップを取り外してください。



- 2** 針隠しカバーがロック状態であることを確認してください。



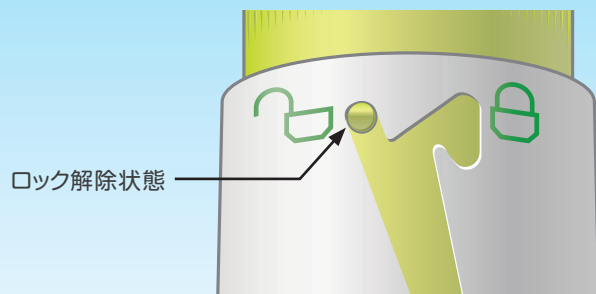
- 3** 注射針を取り付けたカートリッジ部分を針隠しカバーの中に止まるまで差し込み、主治医に指示された投与量を設定してください。



お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

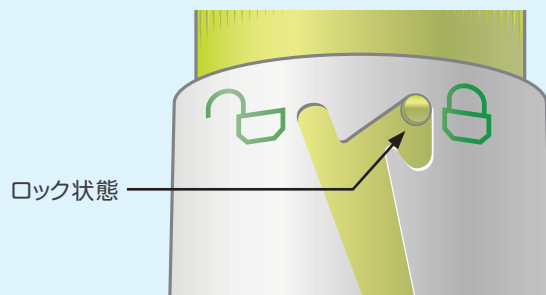
1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

- 4 スライダーを時計回りに回し、ロックピンをロックピンガイドに沿って移動させ針隠しカバーのロックを解除してください。



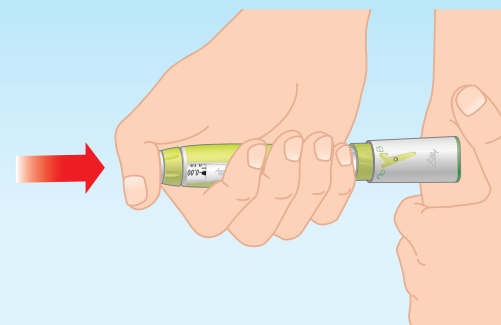
※針さし事故を防ぐため、ロック解除後は、スライダーを押さないよう注意してください。

- 6 針隠しカバーがロック状態に戻っているか確認してから、注意深く針隠しカバーをまっすぐ引っ張ってペンから取り外してください。



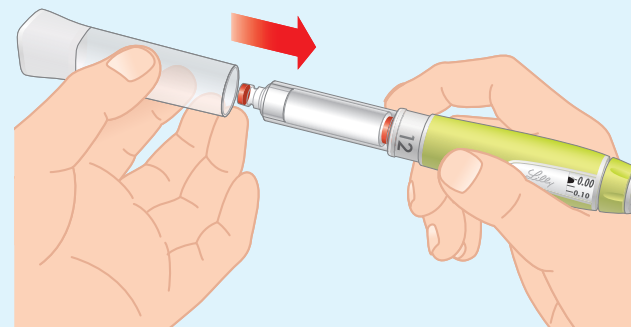
- 5 主治医から指示された方法でお薬を注射してください。皮膚に対し垂直方向に針をさし、注入ボタンを押し込みます。注入ボタンを押したまま、5秒以上待って針を皮膚から抜いてください。

注射針が皮膚に挿入されるに従い、スライダーが針隠しカバー本体の上を進んでいきます。



皮膚から針を抜くと針隠しカバーは自動的にロックされます。

- 7 p.15に記載されている後片付けと保管の手順に従ってください。

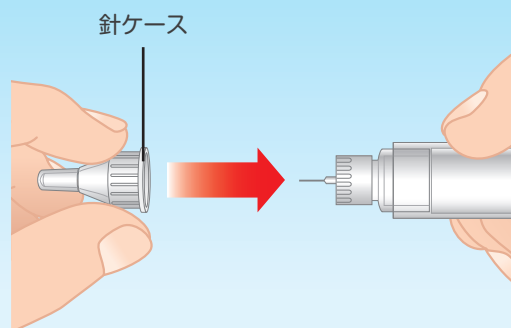


※汚れたときは水を固く絞った柔らかい布で拭いてください。アルコールや洗剤は使用しないでください。

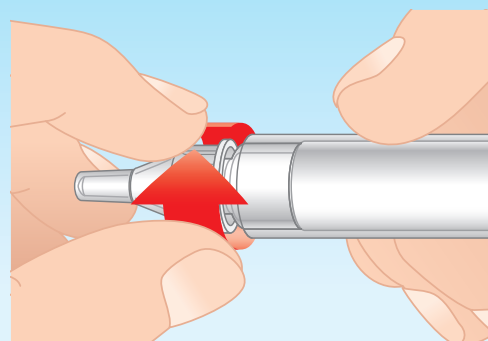
お薬の注射：新しいカートリッジで注射するとき

1 針の取付け → 2 空気抜き → 3 投与量の設定 → 4 注射 → 5 (オプション) 針隠しカバーの使い方 → 6 後片付けと保管

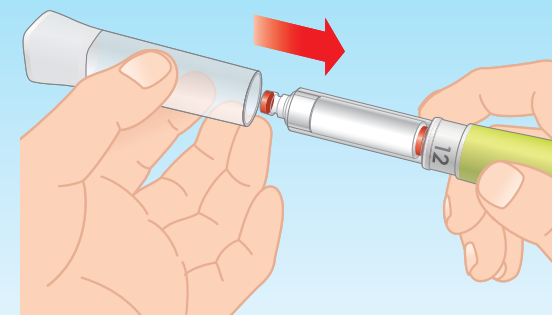
1 注射が終わったら主治医の指示に従い、慎重に針ケースを取り付けてください。



2 注射針を反時計方向に回して取り外します。取り外した注射針は主治医の指示に従って廃棄してください。

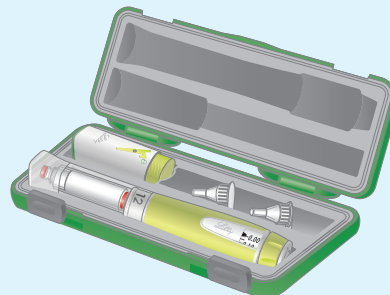
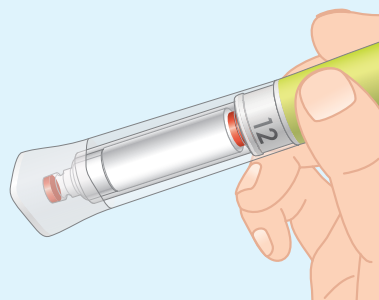


3 ペンのキャップを付けてください。



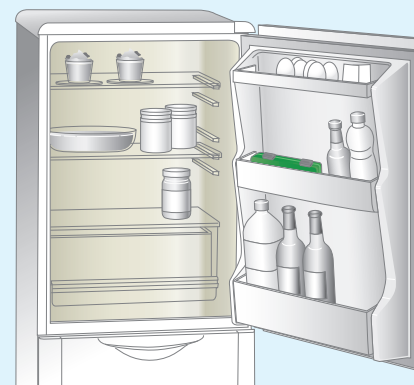
※カートリッジへの空気の混入を防ぐために、注射針を取り付けた状態でペンを保管しないでください。

4 ペン本体にカートリッジを取り付けたまま、専用のケースに入れます。



※設定量が正確に注射されない恐れがありますので、空になるか主治医の指示等により交換の必要が生じるまで、ペン本体からカートリッジを取り外さないでください。

5 ケースは次に注射するまで冷蔵庫(2～8℃)で保管します。



※凍らせないように注意してください。

※溶解した後のカートリッジの使用期限は38日以内です。38日を過ぎたものは使用しないでください。

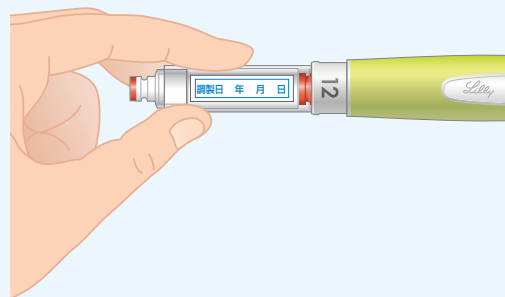
カートリッジの交換

カートリッジの交換が必要な場合



投与量表示窓の数字は注射されなかったお薬の量です。

※カートリッジの残量が設定した量より少なかった場合の対処法は、主治医の指示に従ってください。

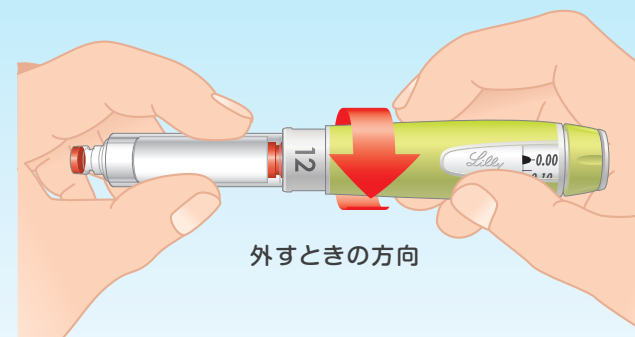


カートリッジの注射液が減って、設定したい量より少なくなっても、投与量設定ダイヤルは回ります。注射後の投与量表示窓に「0.00」以外の数字が出たときは、カートリッジの残量が設定量より少なかったことを示しています。

お薬を溶かしてから38日を経過した注射液は使用できません。新しいカートリッジに交換してください。

※38日を過ぎた注射液は主治医の指示に従って廃棄してください。溶解した日付を「薬剤調製日 記入シール」で確認してください。

カートリッジの交換のしかた



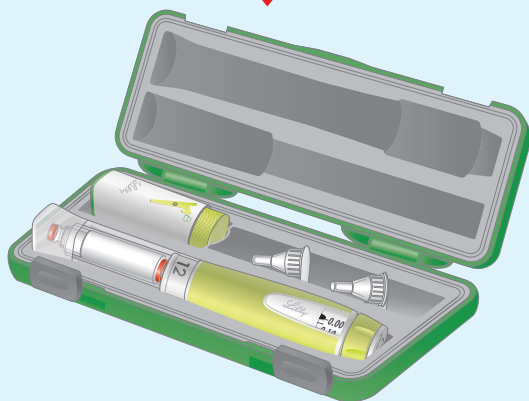
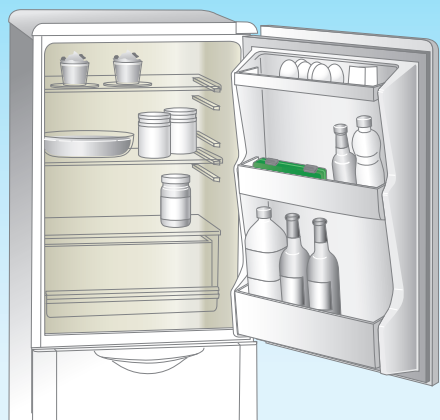
外すときの方向

使用済みのカートリッジを取り外し、お薬の溶解を済ませた新しいカートリッジを、ペンに取り付けてください。

操作方法は、お薬の準備 [p.6~8](#) をご参照ください。

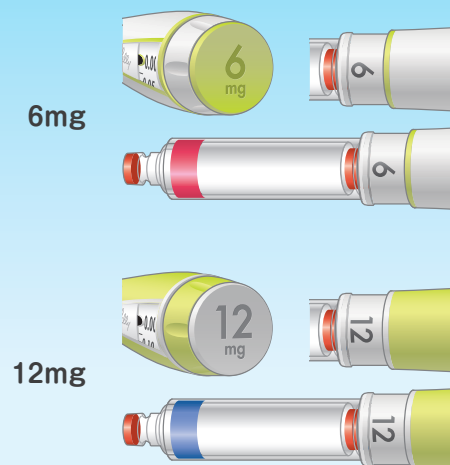
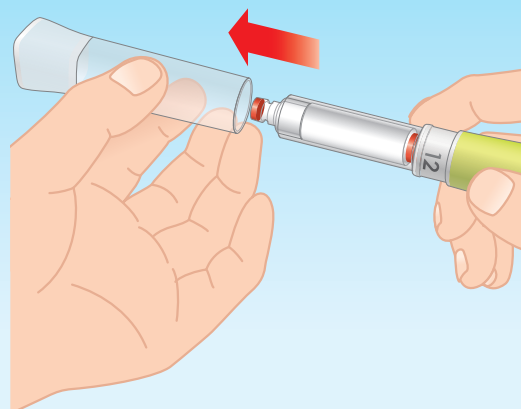
日常の使用：カートリッジがセットされているとき

- 1 注射する10分ほど前に、ケースを冷蔵庫から出しておきます。



※注射の前には、手をよく洗っておきましょう。

- 2 キャップを引っ張って外し、注入ボタンとキャップ取付け部の数字とカートリッジのmg (6mgまたは12mg) が合っていることを確認してください。



※カートリッジもチェックしましょう！

- ✓ カートリッジのラベル
- ✓ 使用期限
- ✓ カートリッジの中身が無色透明で、浮遊物がない

※キャップ取付け部の数字とカートリッジの数字が合っていない場合や、カートリッジに異常がみられた場合は、主治医にご連絡ください。

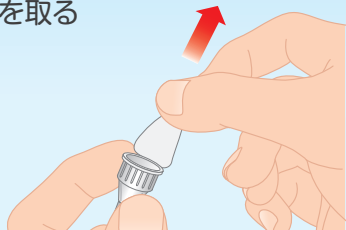
日常の使用:カートリッジがセットされているとき

3 注射針を取り付けます。 (詳しくは→p.9へ)

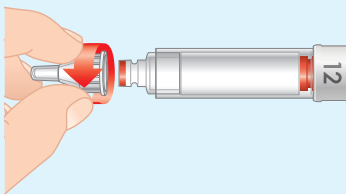
① カートリッジを消毒する



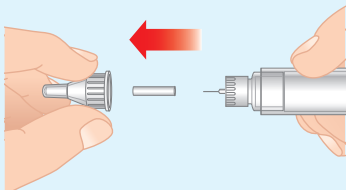
② 保護シールを取る



③ 取り付ける



④ 針ケースと針キャップを外す

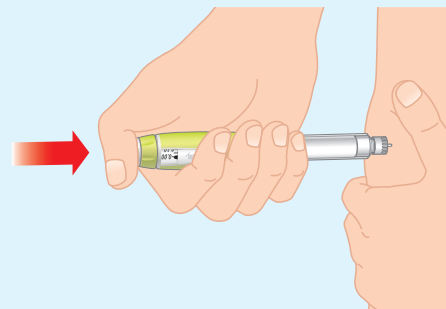


4 投与量の設定をして、注射します。

① 投与量を設定する (詳しくは→p.11へ)

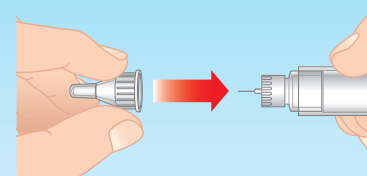


② 注射する (詳しくは→p.12へ)

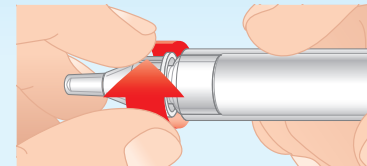


5 注射針を外して片付けます。 (詳しくは→p.15へ)

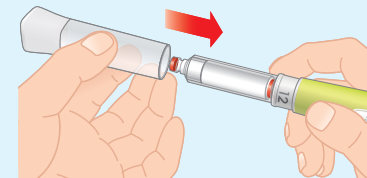
① 針ケースを付ける



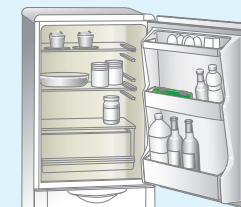
② 針を外して安全に捨てる



③ ペンのキャップを付ける



④ 専用ケースに入れて冷蔵庫にしまう





こんなときは：よくある質問

① 注射を行う際には必ず、カートリッジの空気抜きを行う必要がありますか？

- いいえ。カートリッジの空気抜きは、新しいカートリッジを取り付けて最初に使用する際に1回だけ行います。空気抜きは、ヒューマトローペンとヒューマトロープ注射用カートリッジが正しく取り付けられ注射できることを確認するための大切な操作です。
- 注射の前に毎回カートリッジの空気抜きを繰り返すと、予定よりも早くお薬を使い切るおそれがあります。新しいカートリッジの空気抜きで排出される量はわずかなため、溶解操作後のヒューマトロープ注射用の使用に問題はありません。

② カートリッジの数字とヒューマトローペンの数字が合っていない場合はどうすればよいですか？

- カートリッジのラベルに表示されている「6mg」「12mg」とキャップ取付け部の「6」「12」が合っていない場合には、そのヒューマトローペンは**使用しないで**主治医にご相談ください。

③ 溶解した注射液が濁っているときはどうすればよいですか？

- ペンをゆっくりと10回上下に動かしてください。**このとき激しく振らないでください。**そしてそのまま3分以上静置します。まだ注射液に濁りや粒子がある場合は、もう一度ペンを静かに10回上下に動かしてください。そしてそのまま5分以上静置してください。
- それでもまだ、注射液に濁りや粒子がある場合は、そのカートリッジは**使用しないで**主治医にご相談ください。



こんなときは：よくある質問

④ カートリッジの中に気泡があるのはどうしてですか？

- 溶解操作の時に、カートリッジに気泡が生じることがあります。新しいカートリッジを初めて使用する場合には、空気抜きを行ってください。
- 空気抜きで取れないような小さな気泡は問題ありません。健康にも投与量にも影響はありません。
- 注射針を付けたままペンを保管すると、カートリッジに気泡が生じることがありますので、注射針を取り付けたままペンを**保管しないでください**。

⑤ カートリッジを取り付ける前に注入ボタンを押したが、ピストン棒が前に出てきません。

- ペンにカートリッジが取り付けられていないと、注入ボタンを押しても、ピストン棒が前に出てこないように設計されています。これにより、カートリッジ交換時に、容易にピストン棒をペン本体に押し込むことができます。
- カートリッジ取り付け後は、注入ボタンを押すとピストン棒が前に出てきます。

⑥ カートリッジをペン本体に取り付けることができないときは、どうすればよいですか？

- カートリッジが破損していないことを確認してください。
- 注意深くカートリッジをペン本体に合わせ、しっかり固定されるまでねじ込みます。
カートリッジが破損している場合、またはカートリッジは破損していないのにヒューマトローペンにねじ込むことができない場合には、主治医にご相談ください。



こんなときは：よくある質問

⑦ 注射するとき、注入が重く感じられるのはどうしてですか？

- 注射針が詰まっているかもしれません。新しい注射針に交換してください。
- 注入ボタンを速く押した場合には、注入が重く感じられることがあります。注入ボタンはゆっくりと押してください。
- 注入ボタンを押す力は、注射針の種類によって異なります。どの注射針を使うかは、主治医にご相談ください。
- 注射液、食べ物、飲み物、その他異物がペン本体に入った場合には、注入ボタンが固くなって押しにくくなる場合があります。

⑧ 注射を行ったときに、注入ボタンが最後まで押し切れなかったのは、どうしてですか？

- これは、カートリッジ内のお薬の残量が、設定した投与量より少なかったためです。カートリッジの残量以上の投与量を設定することができますが、実際には残量分しか注射できません。
- 注射終了時には、投与量表示窓に「0.00」と表示されている必要がありますが、それ以外の数字の場合は、その数字が注射されなかったお薬の量です。注射されなかったお薬の量の対処法については、処方の際に主治医から指示された方法に従ってください。
- 次回注射時に、新しいカートリッジを取り付け、空気抜きを行ってください。

⑨ 注射が完了したことを確認するにはどうすればよいですか？

- 投与量表示窓の数字が「0.00」と表示されているのを確認します。



こんなときは：よくある質問

10 どの種類の注射針を使用したらよいですか？

- ヒューマトローペンはJIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針との組み合わせでご使用ください。なお、A型専用注射針との装着時に液漏れ等があった場合の対処方法は、主治医にご相談ください。
- 注射針は別売りです。注射針は主治医から処方されます。
- 注射針の径や長さについては、主治医にご相談ください。
- 針隠しカバーが任意でご使用いただけます。ご使用方法は、「専用針隠しカバー取扱説明書」をご参照ください。
- 針隠しカバーをご使用になる際、ペンニードルプラスは針隠しカバーから針が出ないためご使用になれません。なお、5mm以上の長さの注射針をお勧めします。

11 注射のたびに必ず新しい注射針を使用すべきですか？

- はい。注射のたびに必ず新しい注射針をご使用ください。注射のたびに新しい注射針をご使用になることで、感染の危険を最小限にします。
- 注射の終了後は、速やかに注射針を取り外してください。液漏れ、空気の混入、注射針の目詰まりを防ぐことができます。

12 使用済みの注射針の廃棄はどうすればよいですか？

- 使用済みの注射針は、主治医の指示に従って廃棄してください。



こんなときは：よくある質問

13 ヒューマトローペン6mgおよび12mgの保証期間を教えてください。

- 使用開始後3年です。

14 使用中のヒューマトローペン6mgおよび12mgの保証期間を知る方法がありますか？

- ヒューマトローペン6mgおよび12mgの個装箱に入っている「保証登録カード」に必要事項を記入のうえ、投函いただきますと、3年間の保証期間が切れる前にお知らせを送付いたしますのでご利用ください。

15 1クリックあたりの投与量はどのくらいですか？

- ヒューマトローペン 6mg：1クリックあたり 0.025mg です。
- ヒューマトローペン12mg：1クリックあたり 0.05mg です。

16 1.25mg (ヒューマトローペン6mgの場合)、2.50mg (ヒューマトローペン12mgの場合) の空気抜きで液が出なかったのですが、どうすればよいですか？

- 針先から注射液が出るまでペンの投与量設定ダイヤルを0.05 (6mg用ペンの場合)、0.10 (12mg用ペンの場合) に合わせて空気抜きの操作を繰り返してください。
- ピストン棒がキャップ取付け部の奥に入り込んでいる場合、この操作が5回程度必要になる場合があります。



こんなときは：よくある質問

17 注射したあと、皮膚から注射液が漏れる場合はどうすればよいですか？

- カートリッジの中に気泡が入っているからかもしれません。もしも気泡があれば、カートリッジ内の気泡を除いてください（2回目以降の空気抜きの操作）。
- 痛みをやわらげるために細い針を使用していますので、注入ボタンを押し切ってから液が出終わるまで少し時間がかかります。注入ボタンを押し切ってから針を抜くまでの時間をもう少し長くおいてみてください。

18 使用中にカートリッジ内に気泡が入ってしまった場合、どうすればよいですか？

- 小さな気泡は問題ありません。健康を害することはありませんし、投与量にも影響はありません。
- もし、大きな気泡がある場合は、針先から注射液が出るまでペンの投与量設定ダイヤルを0.05（6mg用ペンの場合）、0.10（12mg用ペンの場合）に合わせて空気抜きの操作を繰り返してください。

19 お手入れの仕方を教えてください。

- 汚れた部分は、固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。
- ヒューマトローペン6mgおよび12mgを水につけたり、水をかけたりしないでください。また、油や潤滑油をさしたりしないでください。アルコールや洗剤は使用しないでください。

保管・お手入れ・重要なお知らせ

ヒューマトローペン6mgおよび12mgをお使いになる前に、必ず添付の取扱説明書をよくお読みください。

<保管について>

- ヒューマトローペン6mgおよび12mgに、カートリッジを取り付けたまま専用の保管ケースに入れ、次の注射まで冷蔵庫に保管してください。**凍結させないでください。**
- カートリッジと溶解液は、必ず冷蔵庫（2～8℃）で保管してください。**凍結させないでください。**溶解済みのカートリッジは、ヒューマトローペンに取り付けたまま、38日間冷蔵保管することができます。カートリッジは溶解後**38日以内に使用してください。**
- 注射する前に、カートリッジを取り付けたヒューマトローペンを冷蔵庫から取り出し、10分ほど室温に置いてから注射してください。注射液が冷たい場合、注射した部位に不快感を生じることがあります。
- 溶解後のカートリッジを室温下に置く時間は1日30分以内にしてください。
- 注射針を取り付けたまま保管しないでください。



保管・お手入れ・重要なお知らせ

<お手入れについて>

- 汚れたときは水を固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- ヒューマトローペン6mgおよび12mgを水につけたり、水をかけたりしないでください。
また、油や潤滑油をさしたりしないでください。アルコールや洗剤は使用しないでください。

<ヒューマトローペン6mgおよび12mgの交換について>

- ヒューマトローペン6mgおよび12mgは、使用を始めてから3年間使用できるよう設計されています。個装箱に入っている「保証登録カード」に必要事項を記入のうえ、投函いただきますと、3年間の保証期間が切れる前にお知らせを送付いたしますのでご利用ください。
- 新しいヒューマトローペンが必要な場合、また使用開始から3年が経過したヒューマトローペン6mgおよび12mgの交換は、主治医にご相談ください。

ヒューマトローペン6mgおよび12mgに不都合が生じた場合は、すみやかに主治医に連絡し、指示に従ってください。

Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

(医療関係者向け)

0120-360-605 ※1

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30 ※2

医療関係者向けウェブサイト：www.humatrope.jp

(一般の方・患者様向け)

0120-245-970 ※1

078-242-3499 ※3

＜当社製品に関するお問合せ＞

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30 ※2

＜当社注入器に関するお問合せ＞

受付時間 月曜日～土曜日 8:45～22:00 ※4

上記時間外は音声ガイダンスにて対応しています。

※1 通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

※2 祝祭日および当社休日を除きます。

※3 フリーダイヤルでの接続が出来ない場合、この電話番号にお掛けください。

なお、通話料はお客様負担となります。

※4 年末年始の当社休日を除きます。